



第97代滋賀県議会議長に就任しました!

この4月26日に召集されました滋賀県議会におきまして、私奥村芳正は第97代議長に就任いたしました。歴史と伝統ある滋賀県議会において、議長の要職を担うことは、身に余る光栄であると同時に、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

現在の滋賀県政は、地方創生や琵琶湖の保全・再生、国体開催への対応、働き方改革など重要な課題が山積しています。自由闊達で公平・公正な議会運営を図ることにより、県民の代表である議会と知事とが切磋琢磨し、県民の代表としての役割を発揮していきたいと思ひます。引き続き、「元氣、勇氣、本氣」を旗印に、湖国滋賀県のさらなる発展のために誠心誠意努めてまいります。

滋賀県の今後の財政収支見通しが示されました!

我々県議会はかねてから、新生美術館や琵琶湖博物館など大規模な整備事業が続くことに対して、県の財政が耐えられるのか、その見通しを示すように知事に求めてきました。これを受けて知事から今後の滋賀県の財政収支の見通しが6月定例会議において示されました。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
歳入	5,120	5,239	5,239	5,363	5,424	5,460	5,412	5,449	5,460	5,471
歳出	5,243	5,407	5,360	5,499	5,569	5,620	5,586	5,627	5,593	5,582
財源不足額	▲123	▲168	▲121	▲136	▲145	▲160	▲174	▲178	▲133	▲111

ポイント

- 歳入が伸び悩む一方で、過去に発行した県債の償還、大規模事業や社会保障費など財政需要の増加が要因。
- 何も対策を講じなければ財源不足は2022年から2024年にピークを迎える。
- 県の「貯金」である基金の残高は2017年度末で128億円の見込みであり、2019年度には底をつく。
- 県民福祉向上のための行政サービスは安定的に提供し、県内経済の活性化に必要な投資や国体・全国障害者スポーツ大会の実施は着実に対応する。

一歩踏み込んだ「行財政改革」の取り組みを進める

厳しい財政状況は理解できますが、決して後ろ向きに萎縮するのではなく、国体・全国障害者スポーツ大会などを見据えて、むしろこれらを起爆剤として滋賀県全体が盛り上がるように議論を進めていく必要があります!

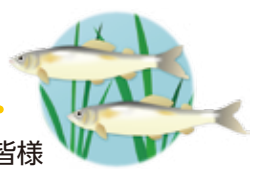
平和祈念・滋賀県戦没者追悼式典

8/26 (土) ●10時よりウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)にて
私も出席させていただきます。そして平和への誓いをしっかりと胸に刻みたいと思ひます。

《第2回》奥村よしまさ グラウンドゴルフ大会

9/23 (土) ●草津市 野村グラウンドにて 朝9時スタート
みなさんのご参加お待ちしております。参加ご希望の方は各学区の世話人までご連絡ください。

アユ漁の現状と対策について



今シーズンのアユの漁獲量が激減しており、関係の皆様は不安に感じられていることと思ひます。県議会においても、アユ漁の現状と原因追及も含めた今後の対応について、議論されました。

現状	●活(かつ)アユ(生きたまま取引されるアユ)・・・平年の6割程度 ●アユ鮮魚(佃煮の原料などとして取引されるアユ)・・・平年の1/4
原因	●昨秋の産卵河川の水量が少なかったため、アユのふ化が遅れた ●そのほかの原因は今後研究
当面の対策	●例年放流している親アユを8tから18tに増やす ●運転資金の借入れのための融資、保証料の補助など ●水産試験場、琵琶湖環境科学研究センターで詳細な研究を行うとともに、国立環境研究所琵琶湖分室や専門家の助言を得て、年内に原因を絞り込む

琵琶湖のアユは滋賀を代表する魚の一つであり、滋賀県の食文化を支える重要な役割を担っています。記録的な不漁となっていることに対して、その原因追及や対策の効果などを県議会としても見守っていききたいと思ひます。

働き方改革について

滋賀県議会では、今年度から「行財政・働き方改革特別委員会」を設置し、現在政府でも取り組まれている働き方改革について、議論を深めていくこととしました。

たとえば、学校の先生は、部活動の指導や保護者への対応、テストの採点や各種研修など、通常の勤務時間を大きく超えて職務に従事されるケースが多く、頭の下がる思いですが、教員の方が本来の職務である児童・生徒の指導に集中できる環境を整えることが必要と感じます。

また、民間企業や官公庁においても、膨大な残業時間が当たり前になっていたりと、出産や育児、介護などが仕事を続けるうえでの障害になっていたりと、その会社や役所だけでなく、社会全体にとっての損失です。効率的で柔軟な働き方を実現することが、人口減少社会を迎えた我が国で生産性を維持するために必要な取り組みであると考えます。

「働き方改革」とは、決して単純に仕事を減らして「楽をしよう」ということに終始するのではなく、メリハリのある効率的な働き方を実現することで、より多くの方が将来に展望を持ち、豊かな家庭生活を送ることができるようになることを目指した取り組みであることに注意しながら議論を進める必要があります。

あなたの^声を県政に！ いのちとくらしを守ります

編集・発行／自由民主党滋賀県議会議員団

LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党

滋賀県議会議員団

県議会レター

会派の主な活動

毎定例会議に交渉会派として行う

● 会派代表質問

6月定例会議

- ※滋賀・びわ湖ブランドの推進について
- ※財政規律と財政健全化について
- ※働き方改革について
- ※スポーツ推進について
- ※琵琶湖保全再生計画について
- ※国民健康保険の安定的な運営について
- ※中小・小規模企業政策について
- ※琵琶湖漁業と農業振興について
- ※流域治水政策について



- ※滋賀の教育施策について
- ※県民の期待と信頼に応える力強い警察について

県の政策課題を調査研究する

● 政務調査会

6名の政務調査会メンバーが、毎週定例で県政の重要課題について調査研究を行い会派としての方針を議論しています。



市町や各種団体からの意見・要望を聴取

● 郡市・団体政務調査活動

次年度の予算編成への反映を視野に、県内の市や町、各種団体が抱える課題を共有するため、要望や意見をお聞きしています。



政策形成に資するため

● 先進事例現地調査

将来の県政に必要な最新情報の収集に努めています。



平成29年1月31日、新たな湖上交通の可能性を調査

二代表制のもと、県民代表の議会議員として、
県民福祉の向上と県政発展のため、
闊達な議論を通して滋賀県らしい自治の創造に努めます。



数より論理
力から技へ

